

合格体験記 ひでさん

1. 中小企業診断士の資格取得を目指した理由

- ① ビジネスマンとして知識を体系的に学び、本社等管理部門や海外を含めた子会社の管理部門等で経営に係る分野でキャリア形成したい
- ② 定年後の再就職のために自分自身のステータスシンボルとして取得したい
- ③ 子供の中学受験と時期が重なり、ともに頑張ろうと考えた

2. 学習の履歴

- 1年目 1次:通信(某社)
- 2年目 1次:独学(TAC 過去問) 2次:独学(ふぞろい)
- 3年目 1次:免除(保険受験なし) 2次:独学(ふぞろい)+タキプロ勉強会+MMC 通学
- 4年目 1次:独学(TAC 過去問) 2次:MMC 通信(ZOOM 受講)

3. 合格までの学習方法

1次試験

- 1回目 某通信の講義を視聴し、過去問を繰り返し解きました。が、完全に準備不足のまま本番を迎え、不合格となりました。「勉強すれば受かる」という感触を得て、試験の翌日から過去問を回し始めました。
- 2回目 数ある過去問の問題集の中から、解説がしっくりとした TAC の問題集に全教科そろえなおし、3回転程度繰り返し解きました。通勤のバス、電車の中、仕事の移動中の待ち時間等の細切れ時間には1~2問でも過去問を解き、平日の夜は終バスまでの時間、カフェで過去問を解きました。休日は午前中に勉強時間を稼ぎ、午後は家族サービスの時間の確保を意識しました。結果として、経営法務の8点加算で救われ、ぎりぎりながら1次合格しました。
- 3回目 2年型落ちした過去問の問題集を買いなおし、スピードテキストとスピード問題集も買いそろえました。加えて、きゃっしいさんの「まとめシート」を活用しました。図表が秀逸で、特に経済、法務や中小企業経営・中小企業政策は知識の整理と暗記に大いに役立ちました。

2 次試験

- 1回目 まだ MMC と出会っていませんでした。ふぞろいを使った独学で、過去問7年分を4～5回転くらいしました。事例Ⅳ対策として、「30 日完成！合格点突破計算問題集」「事例Ⅳの全知識&全ノウハウ」を3回転くらい解きました。
- 不合格(4点不足)の原因は、事例Ⅲにおいて、その場で思いついたこと(ジョンソンのアルゴリズム)の説明に固執し、本来書くべき改善策(作業順序の見直し、昼休みの機械稼働等)を書けなかったことと、全ての事例で空欄を作ってしまったことだと反省しています。
- 2回目 タキプロ勉強会の先輩に MMC を教えていただき、ステップ4から受講を決めました。「解答の切り口」「答案の金型」を活用し、答案の骨格を作ったうえで事例文を読むという、実践しやすい答案の書き方を教わったことで、理解力が高まりました。
- また、「キーワード・マトリクス」で、問題点や課題とセットになる改善策を整理することができ、設問に対して何を答えればよいかの理解が深まりました。
- 事例Ⅳの解説がとても分かりやすく、助かりました。得意にはできませんでしたが、苦手意識を消すことができました。
- 不合格(2点)となった原因は、事例Ⅱでターゲットを書き漏らしてしまったことと、一部空欄を作ってしまったことだと反省しています。
- 3回目 「とにかく時間内に空欄をすべて埋める」ことを最大の課題とし、記述力強化のため、通勤のバス・電車の中で毎日2～3事例写経しました。徳川先生からのアドバイスを信じて、ひたすら書きました。
- また、答案の方向性に多少迷いがあっても試験開始30分後から答案を書き始め、書く時間を50分(前回より+10分)確保する工夫をしました。

4. これから合格を目指す方へのアドバイス

- ① 2次試験は我流に走らず、みんなが書く一般的で平均的な答案を素直に書くことに徹することが最大の対策です。
- ② 長年の実績に基づいた MMC の教えを信じて、忠実に勉強すれば合格に必要な力は十分身に付きます。当日の体調を整え、サプライズ的な問題に慌てずに対処し、空欄を作らなければ合格の可能性は高まります。
- ③ 日ごろから、短くてわかりやすい文章を書く意識を持つことが、日ごろからできる2次試験対策です。(と書いていますが、この体験記は分かりやすいでしょうか)